

2024年度 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数： 4単位
指導目標：1、我が国の歴史の展開を諸資料にもとづき、地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。 2、各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。 3、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
スクーリング	1単位時間× 8回	合格時間数： 2時間以上	教科書	東京書籍 新選 日本史B
レポート	全 12通	合格通数： 12通	副教材	なし
メディア学習	全 6通	合格通数： 6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全 40回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書
4月	古代国家の形成と貴族文化の誕生（飛鳥の朝廷と律令国家、摂関政治）	<ul style="list-style-type: none"> 東アジア世界との関係の変化、公領の変質や荘園の拡大、武士の台頭などに着目して、律令制の形成と中央集権体制のしくみ、摂関政治や院政の展開を理解させる。 遣唐使停止や地方の動向に着目し、大陸文化を消化し日本の風土や生活に適應した新しい貴族文化が進展していったことを考察させる。 	前期4回	No.1・2・3 提出	No.1・2 提出
5月	武家社会の形成（鎌倉幕府の誕生/室町幕府の創設）	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉幕府の成立過程とこの時代の武士の生活について理解させる。 元寇について、世界情勢とその後の影響について理解させる。 鎌倉幕府の滅亡後、南北朝の動乱のなかで室町幕府が成立した過程について理解させる。 			
6月	近世社会の形成（鉄砲の伝来/豊臣秀吉の全国統一）	<ul style="list-style-type: none"> 織豊政権の統一政策を幕藩体制へのつながりという観点から取り上げるとともに、大航海時代という世界史的背景にも着目して理解させる。 鉄砲やキリスト教が伝来したこと、秀吉が実施した検地・刀狩・朝鮮出兵について理解させる。 桃山文化が新興の大名や都市の豪商の精神を反映していることなど、時代的背景と関連させて、その特色について理解させる。 		No.4・5・6 提出	
7月	近世社会の形成（江戸幕府、幕藩体制の成立）	<ul style="list-style-type: none"> 幕府と藩、大名統制、朝廷・寺社統制、農村・農民支配の特色、経済的基盤、封建的身分制度など幕藩体制の特色を政治的・社会的な背景や役割と関連させて理解させる。 鎖国政策については貿易統制、禁教という側面とともに、オランダ・中国・朝鮮・アイヌとの交易にも留意し、鎖国が社会や文化に及ぼした影響と歴史的意義を理解させる。 			
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。		No.7・8・9 提出	
9月	復習	半期の学習内容の復習			
10月	近代国家の形成（明治維新/立憲国家を目指して）	<ul style="list-style-type: none"> 開国によって国際社会に組み込まれる中で、尊王攘夷運動や倒幕運動を経て明治維新に至る過程について、経済や社会と関連させつつとらえさせその意義を考察させる。 税制・教育・軍事など諸制度の改革や富国強兵・殖産興業政策について、欧米列強との関わりに着目して政治、外交、経済など様々な面から考察させる。 欧米文化が導入され、伝統文化を否定する動きを伴いつつ、文明開化が明治の文化形成に寄与したことに着目させる。 	後期4回	No.10・11・12 提出	No.5・6 提出
11月	近代国家の形成（第一次・第二次世界大戦）	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦とその前後の国際社会の動向に留意して、我が国の対外政策や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。 大衆社会成立の中での政党政治の発展を政治や社会運動の動向に留意して考察させる。 労働者の増加や高等教育の拡大による大衆社会の成立に着目し、形成された大衆文化の特色について考察させる。 国際経済、全体主義の台頭、中国の民族運動など世界情勢と、軍部の政治的進出や経済恐慌など国内政治と経済の動揺に着目して、中国との戦争とその長期化及び国際関係の変化、太平洋戦争への突入に至る過程を考察させる。 戦時体制下の国内経済と国民生活の変化、学問・思想や教育に対する統制など、全体主義的国家体制の進展と国民生活について考察させる。 			
12月・1月	現代の世界と日本（占領と国内改革）	<ul style="list-style-type: none"> 対日占領政策及び戦後の民主化を進める諸改革の内容と新しい憲法が制定される経過を考察させる。 占領政策は、中華人民共和国の成立や朝鮮戦争の勃発に見られる東アジアの情勢の変化により、アメリカの対世界政策の転換と結び付けながら推移することに着目させる。 	単位認定試験		
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			

2024年度 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	地理B	単位数：4単位
指導目標 現代世界の地理的事象を系統地理的に考察する。現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
スクーリング	1単位時間×8回	合格時間数：2時間以上	教科書	東京書籍 地理B
レポート	全12通	合格通数：12通	副教材	東京書籍 新高等地図帳
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全40回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書
4月	世界の地形/世界の気候	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の基盤となる地形の重要性や地球表面の起伏の状態とその形成要因を理解させる。 安定大陸の特徴と人間生活との関係について平野と山地の側面から理解させる。 地域ごとの気候の多様性と気候の形成要因を理解させる。 	前期4回	NO,1 NO,2 NO,3 提出	NO,1 NO,2 提出
5月	日本の自然災害/世界の環境問題	<ul style="list-style-type: none"> 日本で起こる自然災害とそれらが発生する要因を理解させる。 世界で起きている環境問題の詳細と要因、各国の取り組みについて理解させる。 			
6月	産業の発展と農業地域/農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> 産業の歴史的変容とその社会的背景について理解させる。 農林水産業における時代ごとの変化と地域ごとの特徴について理解させる。 情報社会の進展に伴う産業や生活への影響について理解させる。 			
7月	資源エネルギー問題/工業の立地と工業地域の変容	<ul style="list-style-type: none"> 資源エネルギー需要の変化や地域ごとの多様性を理解させる。 工業立地の条件がどのように類型化されるのか理解を深めるとともに、立地の変化要因とそれによって生じる問題点について考察させる。 先進国と発展途上国それぞれにおける産業の特徴について理解させる。 			
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。		NO,7 NO,8 NO,9 提出	
9月	復習	半期の学習内容の復習			

10月	人口問題/居住都市問題	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人口分布と人口推移の現状について地球的視野から概観させる。 ・先進国、発展途上国がそれぞれ抱える人口問題や都市問題の要因とそれによって生じる社会問題、解決へ向けての課題について理解させる。 	後期4回	NO,10 NO,11 NO,12 提出	NO,5 NO,6 提出
11月	生活文化/民族問題	<ul style="list-style-type: none"> ・文化についての定義を踏まえ、それぞれの文化が地域の歴史やその土地の自然環境によって多様性がもたらされることを理解させる。 ・生活文化の地域性による相違について各地域における伝統的な生業形態との関わりから理解させる。 ・民族間における問題を歴史的背景を踏まえたうえで理解させる。 			
12月・1月	現代世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域（東アジア・東南アジア・南アジア・西アジア・中央アジア）の文化・宗教・経済等について、各地域の歴史的背景や特色、産業等を踏まえ理解を深める。 ・アフリカの文化・経済について、現在の諸問題を踏まえ理解する。 ・ヨーロッパ諸地域（ロシアを含む）の文化・経済について、各地域の違いや地域統合の現状について理解する。 ・南北アメリカについて、アングロアメリカを中心に、地域ごとの産業や経済状況、各地域の歴史的特色などを理解する。 ・オセアニア諸地域の文化・経済について理解する。 	単位認定試験		
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			

2024年度 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数：2単位
指導目標：世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を調べ、まとめる技能を身に付ける。地理に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解する。				
スクーリング	1単位時間×4回	合格時間数：1時間以上	教科書	東京書籍 地理総合
レポート	全6通	合格通数：6通	副教材	東京書籍 新高等地図
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全20回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書		
4月	地図や地理情報システムと現代世界	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地における、太陽高度や昼夜の時間の季節変化と、標準時を確認し、緯度や経度との関係について考えさせる。 領土問題発生の背景が国益の衝突にあることをふまえ、問題を平和的に解決するための方法について考えさせる。 	前期2回	NO,1 NO,2 提出	NO,1 NO,2 提出		
5月	地図や地理情報システムの役割	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな種類・表現の地図を理解させる。 地形図を用いて土地利用、距離、面積などを理解させる。 主題図の読み取りを通じて地理的事象の分布の特性を考えさせる。 					
6月	生活文化の多様性と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> 文化とその多様性について理解させる。 さまざまな宗教のもつ特徴を理解させる。 地図を用いて、世界の宗教分布について理解し、歴史的背景を含めて考えさせる。 					
7月	生活文化と自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 地図や写真を用いて河川や海岸、山地の地形とそこに暮らす人々の生活を理解させる。 雨温図の読み取り方を学び、気候区ごとの特徴を理解させ、自然環境とそれに対応する人々の生活の様子について考えさせる。 				NO,3 NO,4 提出	NO,3 NO,4 提出
8月	復習/単位認定試験 ※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。					
9月	復習	半期の学習内容の復習					
10月	さまざまな地球的課題と国際協力① 環境問題/エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> 資源エネルギー需要の変化や地域ごとの多様性を理解させる。 エネルギー消費の南北格差の現状とその背景について考えさせる。 地球社会の持続可能性という観点から望ましいエネルギー政策について考えさせる。 	後期2回	NO,5 NO,6 提出	NO,5 NO,6 提出		
11月	さまざまな地球的課題と国際協力② 人口問題/食料問題	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人口分布と人口増加の特徴を理解し、その背景について考えさせる。 先進国、発展途上国が抱える人口問題を理解し、その背景や要因を考えさせる。 食料問題が生じる背景について理解させる。 食の安全に関する問題について知り、その対策について理解させる。 					

12月・1月	さまざまな地球的課題と 国際協力③ 自然環境と防災	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地形の特徴について理解し、その特徴が河川や海岸の特徴にどのような影響を与えているかを考えさせる。 ・日本列島の気候の特性と自然災害との関係性について理解させる。 ・災害について、そのメカニズムを理解し、その影響を理解させる。 ・各種災害がもたらす被害と、その軽減に向けた対応策について理解し、災害が発生した際にはどのような行動をとるべきか考えさせる。 			
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			

単位認定試験

2024年度 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数： 3単位
指導目標：1、我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 2、我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。 3、我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				
スクーリング	1単位時間× 6回	合格時間数： 2時間以上	教科書	東京書籍 日本史探究
レポート	全 9通	合格通数： 9通	副教材	なし
メディア学習	全 6通	合格通数： 6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全 42回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書
4月	古代社会の形成と展開、摂関政治と貴族文化（飛鳥の朝廷と律令国家、摂関政治）	<ul style="list-style-type: none"> ・国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、先史から古代の政治・社会や文化の特色を理解させる。 ・律令国家の形成過程と律令制の特徴について理解させる。 ・貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などをまとめ、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。 	前期3回	No.1・2 提出	No.1・2 提出
5月	中世社会の展開、武家政権の成立と広がり（鎌倉幕府/室町幕府）	<ul style="list-style-type: none"> ・貴族政治の変容と武士の社会進出、土地支配の変容などをまとめ、古代から中世への時代の転換を理解させる。 ・武士の社会進出と平氏政権の誕生、およびその時代の外交と文化の特色について理解させる。古代から中世への時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察させる。鎌倉幕府の支配のしくみについて理解させる。 ・南北朝の動乱と室町幕府の成立について、資料を用いて事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の成立にかけての幕府と朝廷の動きについて理解させる。 			
6月	近世社会の形成（織豊政権による全国統一）	<ul style="list-style-type: none"> ・織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などをまとめ、中世から近世への時代の転換を理解させる。 ・織豊政権の成立前後からの歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近世の特色について多面的・多角的に考察する。 ・織豊政権による全国統一とその政策の目的や意義について理解させる。 		No.3・4 提出	
7月	近世社会の形成（江戸幕府、幕藩体制の確立）	<ul style="list-style-type: none"> ・法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、江戸幕府、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解させる。 ・近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解させるとともに思考力・判断力・表現力を養う。 			
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。	No.5・6 提出		
9月	復習	半期の学習内容の復習			
10月	近代社会の幕開け、近現代社会の展開（明治維新/立憲国家）	<ul style="list-style-type: none"> ・対外関係の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立など、近世から近代への時代の転換を理解させる。 ・江戸幕府の崩壊から明治維新に至る過程について理解させ、近代の特色について多面的・多角的に考察させる。 ・明治維新、文明開化の風潮、学問の発展や教育制度の拡充、自由民権運動などをまとめ、近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解させる。 ・大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、産業革命の展開などをまとめ、立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解させるとともに思考力・判断力・表現力を養う。 	後期3回	No.7・8・9 提出	No.5・6 提出
11月	両大戦間期の日本（第一次・第二次世界大戦）	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などをまとめ、大衆社会の形成、アジアと欧米諸国との関係の変容を理解させる。 ・恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などをまとめ、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解させる。 ・「第二次世界大戦はどのように始まり、どのように終わったのだろうか」などの課題について、資料を活用し、学習上の課題につながる情報を読み取らせる。第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容について理解させる。 			
12月・1月	現代の世界と日本（占領と国内改革）	<ul style="list-style-type: none"> ・占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、戦後の経済復興などをまとめ、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解させる。 ・「戦後、政治や経済、社会などの各分野でどのような改革が進められたのだろうか」などの課題について、資料を活用し、学習上の課題につながる情報を読み取らせる。 ・「占領と日本国憲法の成立」について、資料を用いて事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、占領下の政治と日本国憲法の成立について理解させる。 			
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			

2024年度 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数：2単位
指導目標 18世紀以来の歴史を、まずは「私たち」の身近なところから問いを作って学ばせる。また日本史、世界史を分けずに全体として学ぶこと、近代化、（国際秩序の変化や）大衆化、グローバル化という三つの大きなテーマを設定して学ぶこと、そして現代的諸課題から考察を加えることで、幅広い視点から捉えられる力を育成する。				
スクーリング	1単位時間×4回	合格時間数：1時間以上	教科書	東京書籍 新選歴史総合
レポート	全6通	合格通数：6通	副教材	無し
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全20回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書			
4月	18世紀のアジア	・18世紀のアジア諸国はどのような国際関係を築いていったのか、東アジア、アジア全体、アジアとヨーロッパとのつながりへと視野を広げていき、18世紀のアジアの国際関係を多面的・多角的に考察し、表現する学習を通じて、18世紀のアジアの経済と社会、および「近代化」について学ばせる。	前期2回	No. 1 No. 2 提出	No. 1 No. 2 提出			
5月	近代社会と国民国家	・自由主義とナショナリズムの精神がヨーロッパに与えた影響について考察する。また、ヨーロッパでどのようにして国民国家が生まれ、それが国家による統治をどのように変えたかを学ぶ。						
6月	近代国家への道のり	・19世紀なかばのアジア諸地域で起きた変化を理解する。 ・明治維新が日本国内にもたらした影響について考察する。 ・立憲制と立憲制国家がどのようなものかを理解する。						
7月	第一次世界大戦と戦後の世界	・20世紀初頭のヨーロッパの国際関係を理解し、第一次世界大戦の背景について考察する。 ・大戦の経過について理解し、総力戦としての性格について考察する。 ・ヴェルサイユ体制の特質と、戦後のソ連とアメリカについて理解する。 ・ワシントン体制の特質と、戦後の中国、朝鮮、インド、東南アジア、西アジアやアフリカの民族運動について考察する。				No. 3 No. 4 提出	No. 3 No. 4 提出	
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。						
9月	復習	半期の学習内容の復習						
10月	国際協調体制の変容	・国際協調の時代に、アジア各地で起きた動きを把握する。 ・世界恐慌が与えた影響を考察する。						

11月	第二次世界大戦と戦後秩序の形成/冷戦の終結	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパにおける大戦の展開と太平洋戦争の始まりについて理解する。 ・大戦が終結に向かう経過について理解し、戦後世界に及ぼした影響について考察する。 ・冷戦体制の成立と第二次世界大戦後のアジアの民族独立の動きについて理解する。 ・国際連合成立の意義を考察し、アメリカを中心とした西側諸国の同盟網について理解する。 ・第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣営の対立の過程を把握する。 ・社会主義体制の崩壊、地域統合の動きや地域主義の台頭など現代世界の動向を把握する。 	後期2回	No. 5 No. 6 提出	No. 5 No. 6 提出
12月・1月	グローバル化とこれからの世界/現代的な諸課題の形成と展望	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化と地域統合がどのように進んだか理解する。また、グローバル化による負の側面も考察する。 ・歴史全体を振り返り、これから私たちがどのように行動していくべきかを考察する。 			
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。			